

ヴァイス

ビージーボード 活用のポイント

ベッドから車椅子、車椅子からベッドへの移乗編

技術指導 水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）
富田川智志（日本福祉大学）

ビージーボード の基本的使い方

- **ビージーボード**は米国製の移乗用ボードです。従来の移乗用ボードと異なる点は、**ベース**の中央に可動式の円形の**シート**がついており、その上に座りながら移乗するところです。それによって**おしりに摩擦が生じることなく**移乗することができます。
- ベース、シートともに耐久性に優れ、安全に作られているため、若干の厚みがあり、かつ重いことが難点です。したがって使う時は、まず**ベッド上に置いてから、ベースの片側を持って**おしりの下に差し入れるようにしましょう。
- また、安全面から、シートは滑りすぎない構造になっています。移乗先との**高低差**や**スライディングシート**、**クッション**などを使って、**滑る力**をうまく調整することがポイントになります。
- 車椅子のアームサポートを取り外した方が移乗しやすいのですが、**外さなくても**移乗することができます。ここではその方法を紹介します。



ベッドから車椅子 移乗のポイント

1. 座位姿勢を整える

- ① ベッドの高さを車椅子座面よりも1～2cm高くします。高低差をつけすぎると加速がついて危険になります。
- ② 利用者にはベッドの端にやや浅めに座ってもらい、足を少し開いて足底をしっかりと床に着けてもらいます。
- ③ 車椅子はベッド側面に対して30～45度に配置しておきましょう。ブレーキはかけておきます。



①ベッドの高さの調節



②やや浅めの座り姿勢

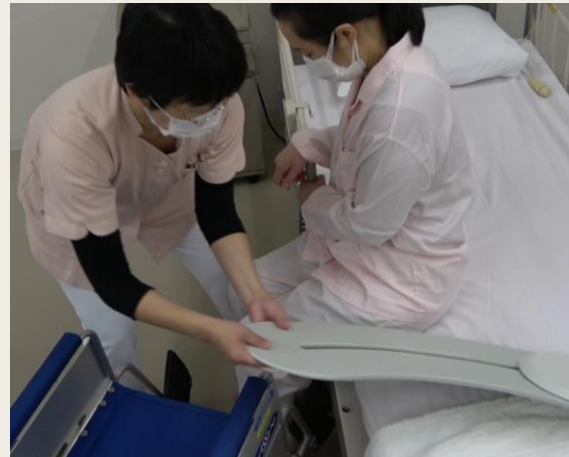


③車椅子を30～45度に配置

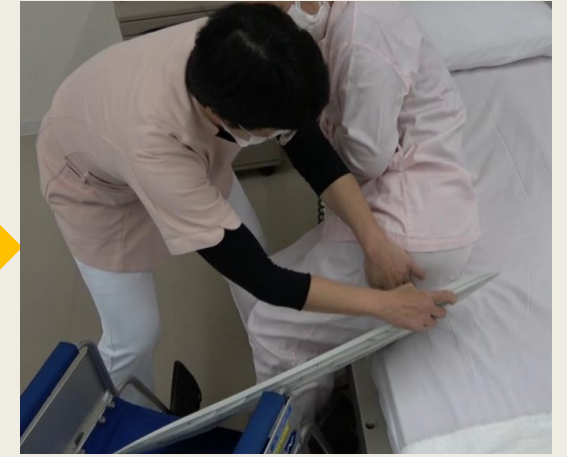
ベッドから車椅子 移乗のポイント

2. シートに片側のおしりを乗せる

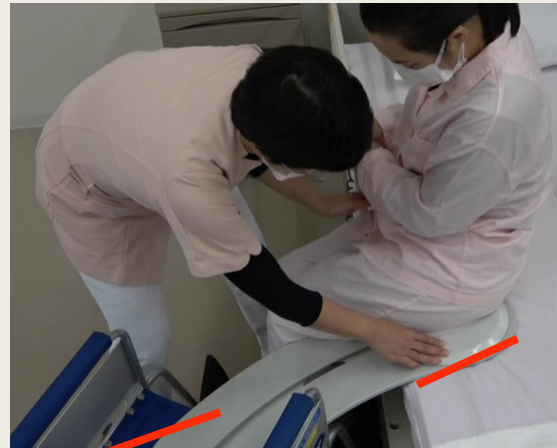
- ① 利用者にはベッド面またはサイドレールに寄りかかってもらい片方のおしりに体重をかけるようにして、もう片方のおしりを浮かせてもらいます。
- ② 介助者は片手で利用者の浮いた側のおしりを持ち上げ、片方の手でシートを持って、ビージーボードをおしりに沿うように深く差し入れます。
- ③ ビージーボードのベースを車椅子とベッドを渡すようにして置きます。両方の座面ともに20cm以上かかるようにしましょう。
- ④ 片側のおしりが乗れば十分ですが、乗り切れない場合は、反対側のおしりの下にスライディングシートを敷きこんでから、腰部を軽く押すとおしりをシート上に移動させることができます。なお、移動したらスライディングシートは外しておきます。



① 体重を片方のおしりにかける



② おしりに沿うように差し入れる



③ 20cm以上かかるように配置



片側のおしりが乗っている



④ シートにおしりが乗っていない時は反対側のおしりの下にスライディングシートを敷き込む

ベッドから車椅子 移乗のポイント

3. ベースを手前にずらす
4. シートに直接手を添えて移動する

- ① 利用者の手を車椅子のアームサポートか移乗先のベースにおいてもらおうと、シートに体重が乗り、シートが移動しやすくなります。
 - ② また、利用者のおしりがシートに乗った後に車椅子座面上のベースを手前にずらしておく、移乗したあとにおしりを動かす空間ができてビジーボードを引き抜きやすくなります。
 - ③ 介助者は腰を落とし、両手を介助者の腰を支持しておしりごとシートを車椅子方向に押しします。
- もしシートに乗ったおしりが動きにくい時は、介助者の手を直接シートに添えて車椅子方向に押しましょう。



- ①手はアームサポートまたはベース先端部を把持
- ②おしりが乗った後にベースを手前にずらしておく



- ③介助者は腰を落とす。腰を支持してシートごとおしりを移乗する
動きにくい時は手を直接シートに添えて押す

車椅子からベッドへの の移乗ポイント

5. スライディングシートと クッションを活用する

- ① 車椅子の座面は狭いため、ビージーボードを設置することは容易ではありません。そこで事前にクッションを敷いて置き、また、移乗時に片方のおしりにだけスライディングシートを敷きこんでおきましょう。それによりビージーボードが差し込みやすくなります。
- ② おしりの下にあるスライディングシートとクッションの間にビージーボードのベースの部分を20cm以上かかるように差し入れておきます。
- ③ 次にシートを差し入れます。ベースとシートをまとめて入れることは可能ではありますが、合わせると高さが生じるため、摩擦が生じて差し入れにくくなってしまいます。
- ④ シートの部分に片方のおしりが乗ったら、スライディングシートをおしりの下から外すか後方に寄せておきます。
- ⑤ 利用者にはシートの先端部分とベッド柵またはベッド面に手を置いてもらおうとシートに体重がかかり、移乗しやすくなります。



- ①スライディングシートをおしりの片側だけ敷き込んでおく
- ②ビージーボードのベースを座面に20cm以上差し入れておく



- ③次にシートを差し入れる
- ④スライディングシートを外す
- ⑤シートの先端部分とベッド柵を把持してもらおう

車椅子からベッド への移乗ポイント 6. 一連の流れ

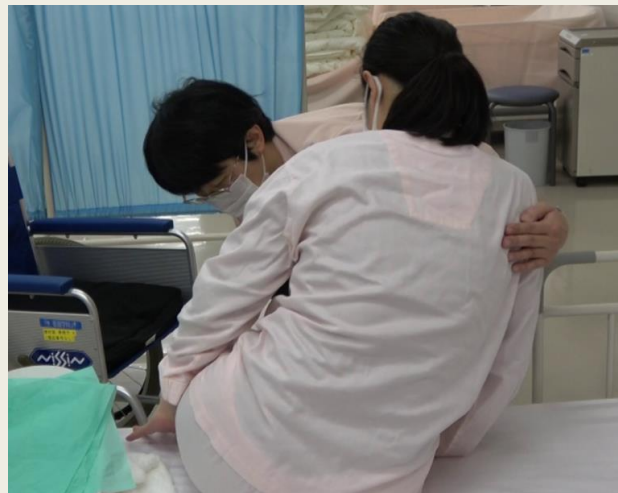
- ① ビージーボード上のシート面がスムーズに移動することができようように**ベッドの高さや、利用者の手の位置**を調整します。
- ② ビージーボードを引き抜くときは、まず**スライディングシートを敷き込み**、その下を滑らせるようにボードをひき抜きます。
- ③ この時利用者の体重を片側におしりにかけてもらい、スライディングシートを敷き込んだ側を浮かせてもらうようにします。
- ④ 利用者に安定した深い座り姿勢をとってもらうようにします。



①ベッドの高さや利用者の手の位置を工夫する



②スライディングシートを敷き込みボードを引き抜く



③体重を片側のおしりにかけてもらう



④深い座り姿勢にする